様式３（2020.06改）

作成日　令和4 年　2月　　18日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373200472
事業所名	せんねん村グループホーム矢曽根せんりょうまんりょう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、回覧板を通じて地域情報を収集し、地域との繋がりを継続している。ホーム外周の清掃活動を定期的に実施し、地域に根差した活動をしている。介護相談や入居の相談があり、その都度見合ったアドバイスをして認知症専門知識を活かし貢献している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は、年6回定期的に開催している。コロナ禍で社内のみで会議を開催し、町内会長、民生委員、市職員、包括担当者には議事録を郵送や手渡しして、運営状況を周知している。会議では、家族向けアンケートの集計結果を基に改善に向けての話し合いをする等、家族からの意見を検討してサービス向上に努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市窓口には会議議事録や各報告書等、書類提出のために出向き直接話をする機会があり、ホームの実情を周知して協働関係を築いている。メールや郵送で研修の案内が届き、今年度はリモートでの研修の参加があった。市の取り組みの「おかえりネットワーク」に登録し、徘徊した利用者がネットワークを通じて早期解決に繋がった例がある。包括支援センターとは入居に関わる相談があり、協働関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月「せんりょう・まんりょう通信」を発行し、利用者の日常の様子や活動内容を報告している。何かあれば都度電話やメールで様子を伝え、時には写真を送付する事もある。コロナ禍での面会は、家族からの要望を取り入れた面会体制を整え、利用者と家族との関係が途切れない様支援している。家族の要望は、「不手際報告書」という専用書を活用し、職場全体で解決に向けて検討する体制を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									